

公務員を目指すあなたへ

植物生産環境科学科 Aさん（平成 28 年度卒業）

これから就職活動を控えている皆さん、特に公務員を目指す方に、実際に公務員試験を経験した者として勉強方法や面接において重要だと思ったことを書いていきます。役に立つかは分かりませんが、参考程度に読んで頂いたら幸いです。

まず公務員試験において重要なことは、情報収集です。公務員試験の一次試験には主に 4 つのパターンがあります。①教養試験のみ②教養試験＋行政系の専門試験③教養試験＋技術系の専門試験④その他（SPI、書類審査など）です。つまり、受験先によって試験内容が異なります。ですから自分が受験しようと思う省庁や自治体の試験はどのような試験なのか、また試験科目をよく調べるのが重要です。「公務員試験受験ジャーナル」という公務員試験の情報雑誌も毎月出版されており、公務員試験に関する最新の情報が掲載されているので読んでみるのもおすすめです。

次に勉強方法についてです。私は 2 年の春休みくらいから少しずつ勉強を始め、3 年の 6 月くらいから大学内で開講される大原の公務員講座に通い始めました。公務員試験は科目がとて多く、何から手をつけていいのかわからないという人には公務員講座に通うことをおすすめします。勉強方法はもちろん面接対策までしていただけます。また、試験科目が多い中で、捨てる科目を作ることも重要だと思います。あとは、ひたすらあきらめずに勉強することです。息抜きもほどほどに。

次に面接についてです。公務員試験では一次試験に合格したらエントリーシートを提出し面接という流れがほとんどです。私はエントリーシートを書くのにとて時間がかかりました。筆記試験の勉強の合間にでも自己分析をしたり、受験先の過去のエントリーシートを手に入れてどんなことを書こうか考えておくといいでしょう。また私は面接が苦手だったので、大原の先生や宮崎駅にある「ヤングジョブサポート」というジョブカフェで繰り返し面接練習をしていただきました。面接は慣れです。何回も繰り返す内に慣れてきます。本番も同じようなことを聞かれます。ですから苦手な人は何回も練習しましょう。民間企業を何社か受けて面接の経験を積むことも一つの手です。面接は元気よく！！

最後に、公務員試験は忍耐力が必要です。勉強はつらいかもしれませんが、時には飲みに行ったりしてリフレッシュしてください。努力は必ずむくわれます。努力の先に合格が待っていると思ってあきらめずに一生懸命頑張ってください。どこかで公務員として一緒に働きましょう！！

公務員試験を終えて思うこと

森林緑地環境科学科 Bさん（平成 28 年度卒業）

今回公務員への就職活動を通じて自分が大切だと感じたことやどの様な対策を行ったかについて書いていきます。一人一人違った考えや就活の仕方が存在するので一概に正しいとは言えませんが皆さんの参考になれば幸いです。

1. 自分のやりたいことを明確にする

これは公務員だけでなく、民間企業を考えている人にも言えることですが、自分が何をし

たいかということを確認にすることです。基本的に就職するということは、その行政機関や企業で数十年間働くということだと思います。よって、自分はどんな仕事に就きたいかということははっきりと決める必要があります、何故そこに就職したいかということ他人に具体的に説明できることが重要だと思います。それは、履歴書提出時や面接時に必ず求められることだからです。なので、一番初めにどういった業種につきたいか、それはなぜかということをはっきりと決めておくと思いいます。

2. 情報収集

次に大切なのは情報収集です。公務員試験ならば、筆記試験、面接があるのですが、その配点はどの様になっているのかというのを事前に確認して置き、それに沿って対策を練ると必要があると思います。また、その行政機関ではどういったことに力を入れているのかを調べておくと思面接の時に役立つと思います。

3. 筆記対策

筆記試験対策としては、月に数回同じ公務員志望者で集まり、試験時間を決め、過去問を解きました。実際に過去問を解いてみることで、どのような問題構成になっているのか、試験時間は足りるのかということがわかります。その後、自分が解けなかった分野について各個人で復習するという方法を行っていました。また、記述試験対策も同様に公務員志望者で集まって、小論文を書き、皆で回し読みをするということを行いました。

4. 面接対策

国と県を併願して受けていたので、個人面接を受ける機会は8回程ありましたが、僕自身が緊張しやすいこともあり、あまり上手く出来たという印象はありませんでした。対策としては、面接のノウハウ本を読んだりしましたが、今になって思うと一番良い対策は場数を踏み、面接に慣れることだと思います。また、集団面接の対策としては公務員志望者で集まり、みんなでテーマを決め実際に集団討論を行いました。集団面接では自分達で司会等の役職を割り振るのですが、各役職を必ず1回は経験しておくと思いいます。

5. 最後に

以上公務員試験について書いてきましたが、僕の体験は一例に過ぎないので、実際に公務員試験を受けられた先輩や、このガイドブックに掲載されている他の先輩方のお話を参考に、自分にあった方法を見つけると良いと思います。これから色々大変だとは思いますが、同期でお互いを励まし合いつつ公務員試験合格に向けて頑張ってください。

民間企業と公務員（地方）を受けて

応用生物科学科 Cさん（平成28年度卒業）

現在、就職を考え始めた皆さんは不安でいっぱいだと思います。私は不安と期待の葛藤の中で期待の方が大きく、楽しみながら就職活動をする事を意識しました。「楽しみながら就職活動？」と思うかもしれませんが、私が意識したポイントを就職活動初期、就職活動終期に分けて、お伝えしたいと思います。

まず、就職活動初期で重要なことは二つ「自己分析」と「企業研究」であったと思

ました。この時期が最も大切です。

自己分析においてあなたのセールスポイントを発見し、そのセールスポイントを実証できる具体的なエピソードを思い出します(主に大学に入ってから)。次に、企業研究です。ここでは、どのような企業があるのかを研究し、あなたがどのような軸で就職活動を進めたいのかを大まかに決めていきます。二つのポイントを押さえたら、企業に対してあなたのセールスポイントがどう活かせるかを考え、面接のときに絶対に使うキーワードを作り、話の流れで組み込むことを意識します。これで、あなたのアピールポイントの7割は伝わります。残りの3割は雰囲気相手に伝わります。つまり、日ごろから言葉遣いや行動は意識しておくことが重要です。

就職活動終期で大切なことは「内定に対する感謝を伝える事」と「内定辞退を早急に伝える事」です。これはマナーですので、多くは述べません。

以上のポイントを踏まえたうえで、就職活動を楽しんでください。

ここからは私の体験を述べていきます。私は公務員と民間企業を受けました。正直にいうと、民間、公務員、研究室の活動のスケジューリングが大変なことになるのでお勧めしません(学生の本分は勉強、卒業できなければ内定は強制的に辞退になります)。しかし、メリットもあります。公務員の面接では、場数を踏んだことで、大勢の試験官の中で他の志望者よりも自然体で話すことができました。

公務員と民間のどちらに進もうか最後まで悩みましたが、企業の内定をいただくのが早く、公務員を受けていることを正直に企業の方に申告したところ、公務員の結果が出るまで待ってくださいました。すべての企業が待ってくださるとはかぎりませんので、内定承諾の期限と公務員の結果発表の確認は大事です。

以上で私の体験については終わります。みなさんの就職活動が明るいものになるように祈っております。

人生の創造

海洋生物環境学科 Dさん(平成28年度卒業)

私は青年海外協力隊に就職が決まりました。来年度からエチオピアで先生をします。二年間の派遣ですので帰国後は無職。そこからまた就職活動です。

大学1年生の時に、海洋生物環境学科のある先生が「どんな経験にも、何か学びがあります」とおっしゃっていました。その通りだと思います。大学4年間での経験が、就職活動の重要な判断材料になります。毎日の何気ない生活、部活動やアルバイト、多くの学生や大人との出会い。様々な視点で物を見ると、良いことも悪いこともすべてが学びです。そして、その学びから自分がどんな感情を抱き、何を考えるか。客観的に自分を見る力を付けることが重要です。経験から自分自身を分析し、考えを持つことで、私もやりたい事にたどり着きました。将来は教員になりたいと思っています。しかし、卒業後は海外です。浪人もしていて、周りの人はみんな働いています。進路決定のときは、いっぱい考えました。教職の講義を受けたら大学院に進学したくなる。実習に行けば現場に出たくなる。こんなところに日本人を見たらNPOを立ち上げたくなる。頭の中はぐちゃぐちゃでした。その様な時、両親から

「好きに選べ」と言われました。「好きに」という言葉は「自由に」と同じ意味ですが、自由には責任が伴います。大事なことは、責任と自信をもってやりたい道に進むことだと教えられました。

就職活動の成功は、自分の選択に責任あるビジョンが持てることにあると思います。今までの経験、出会いを材料に、どの道を通して、自分の思い描く理想の大人になっていきたいか。早い時期にいくつか考えておくといいと思います。これが就職活動の最大の準備です。そして、就職活動での失敗は、志望先に落ちること、やりたいことが見つからないことではなく、自分の考えを整理せず、ビジョンがないまま決定することです。何をを目指すのか。上手くいかなかったらどうするか。決まらない時は、私のように回り道をするのもいいと思います。大切なことは自分の決定に考えを持つこと。大学4年間の過ごし方で、就職活動の幅は大きく変わります。せっかく受験でつかみ取った4年間という貴重な時間。フル活用し、そこで鍛えられた自分を視る目を武器に、それぞれのオリジナルの人生を創り上げていってください。

これから就職活動を始める皆さんへ

畜産草地科学科 EさんFさん（平成28年度卒業）

私は公務員の試験勉強と企業への就活を並行して行っていました。とはいうものの企業は公務員の面接対策として受けていました。大原の実学講座に3年生の6月から通い始めましたが本格的に勉強を始めたのは3年生の12月ごろだったと思います。また畜産の技術職を目指していたので畜産の勉強は主に「畜産ハンドブック」を活用し、今までの講義のノートやプリントも見直して行いました。畜産の勉強に関しては4年生になってから。今思えばもっと早めに始めるべきだったと後悔しています。一次試験まで約二か月の超詰込み型の勉強をし、試験当日も苦手なところ、手があまりつけられなかった分野が出ないことを願い、不安に駆られながら試験を受けていたことを覚えています。結果として第一志望の県庁に合格はしたものの、就職活動中は気持ちに全く余裕がありませんでした。二次試験が終わるまではひたすら朝から深夜まで勉強する毎日。もう少し早めに始めていたらもっと気持ちにゆとりが持て、面接やエントリーシートなどの対策が打っていたのではないかと思います。私自身、対策が遅れたのも自分の進路を決定した時期が遅かったことが原因だと考えています。就職ガイドブックにこうして目を通してしているみなさんは早めに就職活動をはじめようと思っている方が多いと思います。今のうちから自分が何をしたいか、どの道へ進みたいかを自身と向き合い、決定してください。勉強時間・就職活動の対策を行う時間ももちろん大切ですが、なによりも精神面が重要です。就職活動は数か月に及ぶ長期戦。心にゆとりをもって頑張ってください。陰ながら応援しています！（Eさん）

私は、民間の企業を対象に就活をしました。就職活動を通して私が感じたことを、これから就職活動を始める皆さんに伝えることができたらと思います。

それは、「自分が本当にしたいことはどのようなことか」、「どのような環境で働きたいか」等といったことを、自分の中で明確にして就職活動に臨むことの大切さです。数多くある企

業の中から受ける企業を選ぶ際に、自分がやりたいことをできるかどうかはもちろんですが、その企業に入社して自分が思い描く将来像に近づくことができるかどうか、大事にしたほうがよいと思います。福利厚生、社風、転勤があるかどうか等、多方面からその企業について調べ、時間をかけてじっくり吟味してください。自分のことや将来のことについてゆっくり考えることは、就職活動から先あまりないと思います。就職活動を良い機会だと思って、しっかり自分と向き合ってください。

自分が働いてみたい企業が見つかったら、後はその企業に対する自分の気持ちを正直に伝えてください。誠心誠意伝えようという気持ちがあれば、企業の方にはきっと伝わります。最低限のマナーはもちろん守って、自分らしさを出してのびのびと就職活動をやり抜いてください！（Fさん）

ウマの獣医

獣医学科 Gさん（平成28年度卒業）

獣医学科の就職先では小動物、公務員に就職する人が多いですが「馬の獣医」という選択肢もあることを知ってもらいたいので会社の説明から始めたいと思います。まず「競馬の開催」という他社では絶対にできない仕事を行っています。

入場者数、売上は世界でもトップクラスです。獣医職には臨床獣医職と研究職があります。平日に行う「平常業務」では、臨床獣医職は競走馬の病気・外傷を治療する診療業務や予防注射・入厩検疫を行う防疫業務に携わり、研究職は競走馬全般に関する調査・研究に携わります。土曜日・日曜日の競馬開催日には平常業務とは異なる組織の下、「開催業務」として出走馬の馬体検査や事故馬の救護・診療等を行っています。

馬が好きな方は就職先の一つとして考えていただいてもいいのではと思います。

就職活動を終えて私が伝えたいことは自分を見つめ直すことと企業研究が就職活動の鍵だということです。

私の就職活動はまずエントリーシートを書くことから始まりました。志望動機、学生時代に頑張ったことなどを書くのですが、就職活動の本やネットを見ているとサークルを作ったとかアルバイトで売り上げ一番を達成したとかインパクトのある文章が多くて戸惑ったことを覚えています。後で気づきましたが結局は話筋が通っていれば大丈夫です。

一人で考えても全く進まなかったのが大塚のハローワークの学生向けのところに相談に行っていました。ハローワークの方々と一緒に作り上げたエントリーシートは自信を持って発表できる内容になりました。また、面接対策までやっていただけて助かりました。

自分を一度見つめ直して、いいところを探したり探してもらったりして文章として固めていくことが就活の一つの鍵だと思います。誰にでもいいところはありますので私のように自分で思いつかなかったら他の人の力を借りることも大切です。

もう一つ大事なものは企業研究です。業界で自分の志望する企業がどのような立ち位置にいてなぜその業界の中でこの企業を選んだのか明確に答えられることが大切です。例えば自分が

志望している企業を見ることはもちろんですが、ライバル企業にも見学などさせてもらい比較することもいいと思います。

最後に、周りを見ていると獣医師免許があれば就職先に関しては困ることはないと思います。6年生になると卒業論文の実験、発表、獣医師国家試験と大きな関門があるのでこれをしっかりやるのが獣医学科の学生の就職活動の一部のような気がします、頑張ってください！

就職先を考える

植物生産環境科学コース Hさん(平成28年度修了)

就活の始まりを徐々に実感する中で、着々と自己分析やセミナーなどで就活の準備をしている人がいれば、一方で何をしてもよいか分からず、とりあえず就活サイトに登録しただけといったような人もいないのでしょうか。私は、後者でした。セミナーには一度も行かず、就活の解禁直前に慌てて就活サイトに登録して、とりあえず参加しました。

当初の私は、できるだけ早く就職活動を終わらせたいという思いが強く、気に入った会社があれば職種に関係なく試験を受けて内定をもらえればいかなと軽く考えていました。しかし、ある会社の面接で「修士まで行って専門的な勉強をしてあまり関係がない分野のこの会社で何がしたいのか、あなたは何かができるのか」と聞かれたとき、それが深く私の胸に刺さり何も言えませんでした。もちろんその会社からの通知は不採用でした。それから、私は何がしたいのか、会社で何かができるのかを真剣に考えるようになりました。考えた末、今まで大学で勉強したことを活かせる職につきたいと思っていることに気づきました。そこで、思い切って研究分野と関連した企業のみ絞って就活を行いました。職種を絞ったことで、私のしたいこと、できることを、率直に熱意を持って伝えることができました。その結果、なんとか内定を頂くことができました。

就活サイトや本でよく言われているように就活は、始める時期が早ければ早いほど有利だと思います。しかし、私の就活は完全に後手に回ってしまいました。その原因は、就活を面倒に思い、自己分析をしておらず、どんな職種に就きたいかを明確にできなかったことにあると思います。皆さんには、できれば夏過ぎから始まる就活セミナーなどでしっかりと自己分析をして、早い内に自分の進みたい職種をはっきりとさせることをお勧めします。それが後の就活をスムーズに進める上で大いに役に立つと思います。幸い、私はあの時の言葉のおかげで早い内に考え直すことができ、なんとか就活を満足のゆく物にすることができました。これから就活を始める皆さんは私のようにならないように余裕を持って就活に臨んでほしいと思っています。

面接における勧め

森林緑地環境科学コース Iさん(平成28年度修了)

企業での就職活動において、恐らく一番苦勞する場面は「面接」であると思います。人によっては「そういうのは得意だから大丈夫」と思われている方もいると思いますが、それで

も就職活動における面接の雰囲気というのは独特なため、上手く話すことが出来るとは限りません。そこで面接において私がお勧めしておきたいことを2つ、簡単にまとめておこうと思います。

1、まずは準備

面接に挑むにあたり、「準備」は必ず必要です。私の場合は、自分が面接を受ける企業の理念や事業内容についてなどの情報収集、また客観的に見た自分がどのような人間であるのかを理解する自己分析、そしてこれらについて質問された際の面接練習、の3つの準備を行いました。この中でも特に力を入れたのは面接練習で、文章の丸暗記をするのではなく、これを聞かれたら大体こんな話をしよう、ということだけを決めておき、そのつど頭の中で文章を組み立てながら話すという練習を行いました。実際に面接ではこの練習が役に立ち、質問をされるたびにそのテーマに沿って文章を頭の中で組み立てながら話すことが出来ました。このようにしっかりと準備をして臨むことは、心に余裕を生み、それは自信にもつながってくるので、これから就活を行うみなさんにはしっかりと準備をして面接に臨むことをお勧めします。

2、相手の求めている答えを返せているか

これは面接における評価のなかでも最重要項目であると思います。そんなのはできて当たり前だろうと思う方が多いと思いますが、実際の面接では緊張してしまい、これを答えればいいんだなということが分かっているもうまく言葉にできない場合があります。そこで私がこの対策で取り組んでいたことは、少しゆっくり話をする事、間をあげながら話をする事です。もちろん気にならない程度にですが、これを行うことで自分が今何を話しているのかを客観的に見る余裕が出来、相手の求めている答えが出来ているのかを確認しながら話ができるようになります。また相手には落ち着いて話している印象を伝えることが出来るようなので（内定をいただいた企業の面接官の方に言っていただきました）、面接の際はぜひやってみることをお勧めします。

以上が面接を受けるにあたり私がお勧めしておきたい2つのことです。もちろん人によって重要なことは変わってくると思うので、就職活動を行う中で自分にとって重要だなと思うことを見つけたら、意識して行うことを心がけてみてください。最後になりますが、皆さんの就職活動がうまくいくことを心から祈っています。

都市部への就職を考えているあなたへ

応用生物科学コース Jさん（平成28年度修了）

私は関東関西を中心に就職活動を行っていました。その時に自分で感じたことや反省したことを踏まえて、都市部への就職を考えている人に少しでも役に立つことをここで紹介したいと思います。

1. 都市部の企業のインターンシップに参加する

インターンシップに参加する上で大切なことは‘フィードバック’です。‘フィードバック’とは企業の人に自分の評価をしてもらうことです。その企業の方に自分の良い点、悪い点を聞いたら教えてもらえます。選考であればフィードバックしてもらえないです

が、インターンシップであればほとんどの企業がしっかりフィードバックしてくれます。せつかく地方から参加するので、より自分の身になるように企業の方に自分を評価してもらってください。

2. 企業訪問、説明会など行ったときにはそこで友達を作る

地方に住んでいると中々就職の情報が耳に入ってきません。ネットの情報だと限界があるので、就職活動で都市部に行ったときには必ず友達を作り、連絡先を交換することをお勧めします。お互いに情報交換することで、自分のためになるような情報を得ることができると思います。

3. 交通費は惜しまない

地方学生が就職活動する中で一番心配することは交通費です。しかし、就職は人生の分岐点です。交通費を惜しむことなく、都市部に出て、色々な企業と出会うことで自分に合う企業を見つけることができます。多少交通費が嵩んでも、将来の自分への投資だと思って色々なところに足を運んでみてください。私のお勧めとして、少しでも交通費を抑えるために航空会社のカードを持つことをお勧めします。私は学部1年の頃からカードを持っていて、就職活動時は貯めたマイルで宮崎-東京間を3往復もすることができました。

4. 休息をしっかり取る

就職活動が長くなればなるほど体力だけでなく、精神面でも疲れてしまいます。ESや面接に追われて自分は何がしたいのか、自分自身を見失いそうになってしまいます。そういうときは一旦休息を取ることをお勧めします。1日だけでもいいので、就職活動のことは考えず、自分の好きなことだけをして過ごすのも必要なことだと思います。

最後に、就職活動は様々な出会いがあります。他大学の学生や企業の方々にたくさん出会って刺激を受けながら自分を成長させるいい機会だと思います。今後のみなさんの就職活動が有意義なものになることを願っています。

「私が力を入れたこと」

海洋生物環境科学コース Kさん（平成28年度修了）

就活についての心構えや、勉強などのやった方がいいことについては他の人が書いてくれていると思うので、ここでは私が就職活動をするにあたって特に力をいれた3つのことについて書いていきたいと思います。

1つめはエントリーシートの作成です。私はエントリーシートの作成の際、自己PRになにを書けばいいか全くわかりませんでした。そのような状態で最も参考になったのが、「自分がどういう人間か」ということを第三者に聞くことです。そうすることで、自分では何でもないと思っていたことが長所であるといったことに気付く他、自分の意識していなかった短所なども自覚することができ、エントリーシートを作成する上で非常に重要な足がかりになりました。

2つめは面接の対策です。私は口下手な方なので志望動機などを暗記し、最初の面接に臨みましたが、結果は不合格でした。緊張のあまり暗記した志望動機を忘れてしまい、5秒以

上沈黙が続いてしまったことが原因だと思っています。この失敗以降、言いたいことは要点のみを覚えておき、あとはその場で話すようにしました。そうすることで「暗記した内容を完璧に言わなければ」というプレッシャーから解放され、過度に緊張することが無くなりました。また、キャリア支援課やハローワークといった施設を利用することは面接の練習をする上で大きな助けになりました。自分の志望動機や自己PRが他者から見てどうなのかということが聞けるほか、面接そのものに慣れることができるのでお勧めです。

3つめは結果の反省です。必死に努力をして面接に挑んでも内定が貰えないということが多々あると思います。ですが、結果だけを見て落ち込むのではなく、「自分のどこが悪かったのか」を考えることは非常に重要です。一回目が駄目でも自分の悪かった点を改善して二回目、三回目…と就活に挑戦していけば必ず結果につながります。

以上の3つの事柄が特に力を入れたことです。少しでも参考になれば幸いです。

就活に向けて、自身のバックグラウンド

畜産草地科学コース Lさん（平成28年度修了）

私が就職活動を始めたのは、3月に行われた合同説明会でした。実際、合同説明会に行って、色々な企業ブースを回ってみましたが、就職活動とは何をすればよいか、具体的によく分かりませんでした。多くの会社がある中で、民間企業にしようか公務員にしようか悩む人も少なくないと思います。今一度、就職活動を始める前に、何に興味を持っているのか、改めて考えることが大切だと思いました。

私の就職活動は、決して他人に褒めてもらえるようなものではありません。友達と就職活動の話もしなかったし、インターンシップに行ったわけでもありません。ただ、インターネットで書類選考や面接に向けて準備しました。その上で、一番注意したことは、根拠のないことは絶対書かない、また発言しないということです。書類選考や面接に共通していることですが、一番重要なことは相手の気持ちになることだと思います。書類には丁寧な文字を、面接では自分の考えをわかり易く伝えることです。相手の気持ちになって考えれば、当然のことだと思います。企業研究やその企業の理念や分野に対して、自分の経験を活かすことが出来るのかをしっかりと勉強してください。これがないと、自分の話に興味をもってもらうのは大変難しいことです。

最後になりますが、就職活動を行ってきて、自分のポジションというものを客観的にとらえる良いきっかけとなりました。今一度、自分がやりたいことは何かを考えてみてはいかがでしょうか。今後、就活する人ができるだけ、希望どおりの会社に就職できるよう心からお祈り申し上げます。

就職活動で差をつける！先輩からのメッセージ

農学国際コース Mさん（平成28年度修了）

この就職ガイドブックを読んでいる皆様へ、就職活動を終えた私からこれから就職活動を始める皆様へアドバイスをしたいと思います。私が特に重点をおいてほしい3点について、

それぞれ述べたいと思います。

① 自分の興味のある職業について就職活動を始める前に調べておくことが大切です。これには意外と時間がかかります。自分のこれから学ぶ、もしくは学んでいる専門を生かした職業に就きたいのか、それとも全く別の分野の職種に興味があるのか、きちんと明確にしておく必要があります。しかし、1つに絞る必要はなく複数あって構いません。むしろ、ここで1つに絞ってしまうとその職種だけ就職活動が偏ってしまうため、注意が必要です。

② 企業説明会に積極的に参加してください。これは就職情報サイトや宮崎大学、各都道府県の労働局主催の合同企業説明会と単独の企業説明会の2種類があります。

私は複数回の合同企業説明会と単独の企業説明会に参加しました。①で興味を持った職種の企業を合同説明会に参加して、興味のある職種に携わることができるのかを確認し、単独説明会でさらに詳しく見極めることが大切です。その上で選考に臨む必要があります。

③ 資格の取得についてです。資格は就職活動を行う際に武器になります。これは企業側から見たときにその人が大学でどのようなことを学んだのか、興味を持ったのかの指標となります。

大学では一定の単位の取得し、卒業後申請すれば資格を取得できる制度も多数あります。私も学部生時代に国家資格や、民間の資格を取得しました。また、専門を生かすための資格だけでなく、TOEICや秘書検定などの語学力やマナーについての資格でも構いません。

以上3点が、私が就職活動を通して就職活動を始めににあたって必要と感じたことです。学生である時間は思っているよりも短いものです。就職活動が始まるのはそれから約1年前と考えると、①と③についてはそれよりも前に行っておく必要があります。これから就職活動を迎える皆様はぜひ計画的に行動を起こしてほしいです。

就職活動は場合によっては卒業後に進む進路を左右するものです。私のアドバイスを皆様が少しでも活用していただき、皆様には自分の納得する就職先を選択していただきたいと思います。